



筑紫野市 水道事業 開始 60周年

記念コラム 「水道水を届ける」

浄水場で作られた安全な水を各家庭に送り届ける役割を担っているのが配水池・配水管などの配水施設です。

● 配水池

日中と深夜など時間によって増減する水の使用量と浄水場から送られる水量の差を調整し、安定した給水を行うための貯水施設です。ここに貯められた水は、地形の高低差やポンプによる圧力を利用して配水管へ送られます。

市内には、主に二日市地区に配水している天拝坂中央配水池、主に筑紫地区に配水している原田ニユータウン配水池、主に御笠地区に配水している阿志岐配水池と原配水池、山口地区の一部に配水している山口配水池など、大小合わせて8つの配水池があります。



天拝坂中央配水池

● 配水管

各家庭のすぐそばまで水道水を送り届ける管のことで、道路を網の目のように走っています。総延長は、平成28年度末で、約400kmにも及びます。

住宅地の拡張などに伴い新設する一方、古くなった管を新しい管に入れ替えて、漏水事故などを未然に防止しています。

● 問い合わせ先 上下水道料金総務課（上下水道庁舎内）

☎ (0923) 71113